

月刊新翔タイムズ

第23号 新翔タイムズ編集室 発行・熊野新聞社

5月29日から本年度の高校総体(シラクー)は春季大会兼国体予選が始まった。各クラブのキャプテンが決意を語った。

【弓道部 3年2組 向井地創平】

「僕たち3年生はこの大会で最後の大会なので、いつも以上に頑張りたいです。今まで良い成績を上げてきたので、少しでも良い結果を出せるようにしたいです。2年生たちにも期待しています。」

【サッカー部 3年4組 岸野圭佑】

「和歌山市での予選で必ず勝ち上がって、新翔のグラウンドでも試合ができるように頑張りたい。チームのために少しでも練習して毎日練習して」と思いいます。

【空手道部 3年1組 間所真唯】

「私たちが空手道部の目標は、インターハイに出場することです。この目標に向けて毎日練習して感謝の気持ちを忘れず、切った今、私たちに」

【男子ソフトテニス部 3年1組 山本忍】

「今までいっていい悔しい思いをしてきました。最後の大会くらいに最高の思い出を作りたいです。みんなが一つになり、互いを信じて、できる限り、良い結果につながります。仲間を信じて、精いっぱい頑張ります。」

【男子バスケットボール部 3年1組 坂本真司】

「ソフトテニス部は先生やOBの皆さんのおかげで、とても強くなることができました。感謝の気持ちをもち、大会でより多くに行けるように頑張りたいと思います。」

【水泳部 3年3組 眞司二・松本あゆみ】

「私たちが水泳部は、シーズンオフの冬場も練習し、合宿に参加することで競技力の向上を目指してきました。最後の大会で」

【陸上部 3年1組 久保勇二】

「陸上部は、6月4日(金)から6日(日)まで、紀三井寺陸上競技場で開催される高校総体に出場します。3年生にとっては最後の大会となるので、これまでの練習の成果を十分に発揮し、悔しい思いをしないよう頑張ります。」

【剣道部 3年1組 堀早希】

「部員が少なくあまり活動ができませんが、3年間剣道を続けてこれたのは、お父さんやお母さん、地元の方々や先生、友達など多くの方が支え、応援してくださったからです。感謝の気持ちを忘れず、切った今、私たちに」

【女子バドミントン部 3年1組 坂地まどか】

「バドミントン部は先生やOBの皆さんのおかげで、とても強くなることができました。感謝の気持ちをもち、大会でより多くに行けるように頑張りたいと思います。」

【男子バドミントン部 3年2組 谷口大輝】

「高校総体に出場するにあたって、今までに練習してきたことを全力でぶつけられるような試合をしたいと思っています。一人でも多く良い成績を残し、決勝は新翔同士で戦えるように頑張りたいです。」

【ラグビー同好会 3年2組 大江貴也】

「和歌山県ラグビー春季大会兼国体予選として30日正午、新宮高校グラウンドで、新宮対新翔の試合が行われます。現在ラグビー同好会は、3年生5人、2年生11人、1年生8人、マネージャー1人の計25人です。顧問は恵須川先生です。顧問の全国大会予選で県ベスト4に入るのが全員の目標です。この総体でまず1勝することが第一歩だと思っています。新宮高校は、今チームが一番意識している相手です。一人一人が全力を出し切り、最後まで走り負けず、タックルで相手を倒して勝ちたいと思います。応援よろしくお願いします。」

水泳部

本校は県下の高校で唯一、屋外50メートルプールを持っています(他校は25メートル)。

現在、部員は男子5人、女子4人の計9人がそれぞれの目標に向かって日々練習に励んでいます。部員は、中学時代水泳とはまったく無縁で、ほかの競技をしていた者がばかり集まっています。しかし試合や練習を重ねる中でその魅力にひかれ、今では、近畿大会出場という目標を口にするようになってきました。

水泳の最大の魅力は、水との一体感です。ほかの競技にはない感覚を味わうことができます。水は人間にとって生きるために欠かせないもの一つです。しかしその性質は気体、液体、固体とさまざまに変化し、温度、その抵抗などまだまだ未知で可能性の多い物体です。そんな水と自在に操ることがの喜びを知った人は、水泳という競技のとりこになってしまっものです。今の部員たちも厳しい練習の中で、少しずつ自分の変化やタイムの伸びを楽しみながら活動しています。その少しの伸びを期待し、多大な時間と努力を費やす。効率が悪くてもいい、そばかすもいれませんが、練習の中で、少しずつ自分の変化やタイムの伸びを楽しみながら活動しています。その少しの伸びを期待し、多大な時間と努力を費やす。効率が悪くてもいい、そばかすもいれませんが、練習の中で、少しずつ自分の変化やタイムの伸びを楽しみながら活動しています。

また現在、本校水泳部と中学生と一緒に練習しています。小学生が一緒に練習しています。小学生と一緒に練習しています。

顧問: 脇本 優生 (わきもと ゆうき)

クラブ紹介



が、その小さな積み重ねが人間の成長を促し、それが豊かになってくれれば必ず目標を達成できると思います。そんな「心」の成長ができるような活動を日々目指しています。

新生徒会役員にインタビュ

先日生徒総会が開かれ、改選された生徒会執行部の皆さん(会長・引地健太君、副会長・西地亮君、川村裕彰君、長・西地亮君、川村裕彰君、いずれも3年)に、編集室からインタビュした。

【編集室】選挙公約で、「みんなが明るく過ごせるような学校にしたい」といっていましたが、具体的にどうしてゆきたいですか。

【西地】体育祭の応援練習のような、学年の枠を超えて共通で何かするようになる機会が増えませんか。

【引地】階段や廊下にゴミが多いのは、捨てるのが面倒だからだと思います。ゴミ箱の数を増やしたらどうでしょうか。

【川村】先生方が休み時間の監視をされていますが、美化委員会を中心に、生徒も監視をするのはいかがでしょうか。

【引地】服装の乱れている人がまだいるので、生徒会から呼びかけてきちんとしてほしいです。男子はシャツをちゃんとスポーンに入れること、女子のスカートの丈を短くしてほしいです。

【西地】あまり活動できていない委員会もあるので、委員会活動を活発にしたいですね。

【編】ありがとうございます。がんばってください。

先生の紹介



江川 一先生 (50)

過去三年間、若手の先生を中心に本校の先生に自己紹介をしていただきましたが、本年度は、先月号の教頭先

です。なかなか時間がたいています。パソコンも含め本校で2回、3年生の担任を持ちました。3年生の卒業式の日、心のこもった寄せ書きなどを感じました。未曾有の大不況の世の中で、今年も3年生の就職戦線はともかく、生徒諸君の良きことを存分に発揮して、頑張りたいと思います。



生徒会執行部の3人。左から川村裕彰君、引地健太君、西地亮君。

